



個別支援計画って？



A. 一人ひとりの状態にあった支援の計画書のことよ。

放課後等デイサービス計画、ともいいます。

放課後等デイサービスを利用する一人ひとりの子どもは、みんなちよつとずつ違っているでしょ。なので、まったく同じ支援では上手くいくはずがないの。なので、一人ひとりに合った支援の計画書を作るのよ。

持つてる能力や置かれている環境、日常生活全般がそれぞれ違うので、それを細かく聞き取っていきます。

これをアセスメントといいます。

なにが得意でなにが苦手なのか、どこまでなら出来るのか、どんな障がい特性を持つてるのか、自分はどうしたいのか、保護者はどうなってほしいと思っているのかという基本的なことを、具体的に聞き取っていきます。

この、子どもや保護者と面談して作ったアセスメントを通じて、総合的な個別支援計画の原案を作っていくの。

達成時期、生活全般の質の向上するための課題、支援の具体的内容、支援をするときに気を付けなければいけないことなんかをこの時点で考えていくのよ。

この原案をもとにして、支援会議という場で話し合って、個別支援計画を完成させていくの。

この個別支援計画は、作りっぱなしではいけないことになっています。

6ヶ月に1回以上は継続的なアセスメントとモニタリングを行い、その度ごとに解決すべき問題を把握して、個別支援計画の見直しをするべきかどうか検討して、必要に応じて個別支援計画を変更しないといけません。

この見直しにあたっては、支援者の間で必ず会議を開催しなければいけないことになっています。

児童発達支援管理責任者1人だけで個別支援計画の見直しは出来ないことになっているの。

また、新しく作成したり見直しをした場合は、面談で説明して保護者から同意をもらわないといけないのよ。

必ず、個別支援計画の見直しの時期までにモニタリングを行って、現在の個別支援計画の終了時期までに、新しい個別支援計画を立てなければならないの。

もし計画の空白期間が生じた場合は、[給付費の減算](#)をしなければならないのよ。
個別支援計画に厳しいルールが設けられているのは、支援の根幹にかかわるとても大切なものだから、なのね。

そして「個別支援計画」は支援する人みんなで[共有](#)することが大切なの。

支援する人が変わっても、支援の内容が変わらないことが大事なのよ。
[学校](#)ではやっても良くて、この事業所ではやっちゃダメ、家ではやっぱり大丈夫、では子どもが混乱してしまうわ。
利用する子どもへの支援を明確にする計画書、ということなのね。

支援にかかわる人はだれでもすぐに見られるはずなんだけど、けっこう難しい言葉が並んでいたり分厚くて読みにくかったりします。
なので、主だったところを抜き書きにして個別記録の表紙に張り付けている事業所もあるのよ。
長期目標、短期目標、良くて悪くて特に気を付けるところ、なんかを箇条書きにしてあると解りやすいですね。

[《MENU》](#)

[《放課後等デイサービスの基本的な姿勢って？ 支援はどういうことに注目してるの？》](#)

2020-11-30 掲載